

# 安心

## 災害に強いまちづくり

能登半島地震を教訓に、いつまでも住み続けられるまちに向けての施策を行います。激甚化・頻発化する自然災害に備え、災害に強いまちづくりを推進するため、治山事業や法面対策に大型予算を投入します。また、危険木の事前伐採や木造住宅の無料耐震診断を実施し、減災に努めるとともに、有事の際に必需となる町内避難所等の備蓄資材購入費についても大幅拡充し、防災力の強化を図ります。

## こども・子育て支援

「こどもたちの笑顔と未来輝け、出産・子育てを全力サポート」と銘打ち、すべてのこども・子育て世帯をライフステージに応じて切れ目なく支援する政策体系をパッケージ化し、子育て支援と教育施策を重点化します。出産祝い金の拡充やこども未来応援金の新設のほか、英語検定の検定料と通学費の助成、園児のおむつ無償提供、不妊治療助成の拡充など、町を挙げて出産・子育てをサポートします。

日本は国家の危機ともいえる少子化が静かに急速に進行中です。厚生労働省が発表した2022年の合計特殊出生率は1.26で、7年連続低下しています。本町においても子どもの出生数は減少しており、若者世代の生活基盤の不安定さを解消しなければ、少子化の反転は厳しいと考えています。

民間が行った大学生へのアンケート結果を見ても、「子どもは欲しくない」と考えている人が19.2%と、前回調査から増加しています。その理由として、「うまく育てられる自信がな

# 活カ

## 移住・観光振興

「選ばれるまち」を目指し、総力を挙げて活力あるまちづくりを実現します。

急激な人口減少と少子高齢化に果敢に挑戦するため、地域の宝や強み、魅力の発信を強化するとともに、新たな観光コンテンツの開発など、移住・定住につながる総合的なプロモーションを実践します。

また、上石見駅開業100周年記念や「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」を好機ととらえ、本町ならではの地域資源を広くPRするなど、交流人口の拡大に取り組みます。

## 産業振興

「ともに成長し、暮らし豊かな未来を実現する」ことを目指し、「たったもカード」の活用を軸に、引き続き地域経済の活性化を後押しします。

また、オーガニックベレツジ構想の取組や、町内産のヒメノモチを全国区ブランドに押し上げるための加工品生産販売拠点整備、日南トマトのさらなる生産販売拡大のためのリースハウ事業、高性能林業機械リース事業による林業の効率化や安全性の向上、ハイテク化による生産性向上などを進めます。

さらには、イノシシやシカ等の鳥獣被害が拡大している現状をふまえ、その対策にも力を入れていきます。冬季間の捕獲単価を大幅に引き上げて被害の軽減に努めるとともに、冬場の仕事づくりにつなげることで、新たな捕獲者を確保していきます。



い「自分の時間がなくなる」「経済的に不安」などが挙げられています。こうしたことを解消していかなければ、若者の未来社会・日本の将来に希望は持てません。日南町も、2050年の将来推計人口は1765人と予測されています。人口減が地域経済に与える影響は甚大です。子どもを持ちたいと思う人を増やし、その希望が叶う社会の実現に向けて、政策を総動員する時期と考えます。

## 環境保全・集落対策

緑豊かで美しいこの町を守り、次の世代へ受け継いでいくため、ごみの減量化や環境保全に努めるとともに、空き家・危険家屋の解消に向けて予算を大幅に拡充します。また、遊休施設となつている公共施設は、民間活用による新たな価値や雇用創出などの可能性を検討するため、サウンディング調査を実施します。

ごみ減量の取組は、目標を達成した場合、全町民にたったもカードのポイントを付与することとし、「個人の活動だけでなく、町全体の活動の成果に対して」という新たな発想で、町民の皆様の主体的なご参加とご協力をお願いするものです。

## 買い物環境確保

昨今の買い物環境への不安対策として、「町内移動販売支援補助金」を設けます。現在事業者として想定しているのは、隣町に営業拠点を持つ運営会社で、現在も町内の一部のエリアで販売を行われていますが、今後はエリアを全町に広げていただきたいと考えています。町民が日常の買い物を行える環境を確保し、安心して暮らせる生活環境づくりに取り組みます。

## 地域づくり・人づくり

複雑化・多様化する地域課題に対応していくため、行政だけではなく、まち（むら）づくり協議会をはじめ、NPO、企業、大学などの多様な主体との「共創・協働」の取組を進めます。また、次世代を担う地域リーダーの育成や、様々な職種での外国人材の育成雇用など、地域の担い手を高める取組を実施し、「持続可能な未来のため『共創と協働』による住民主体のまちづくり」を進めます。

## 結びに

令和6年度は、本町の核である日南病院の改築基本計画や中心地域整備計画を進めてまいります。こうした事業や新規事業などの着実な推進を図るため、機構改革を予定しています。人材確保と育成、働きやすい環境づくりにも注力します。限られた財源の中、自治体のやりくりは厳しい時代が続きますが、しっかりと将来につなぐ、持続可能なまちづくりを念頭に置き、町民の暮らしが、少しでも豊かになるよう、私自身全力投球していきます。

町民の皆様におかれましては、町政運営に対する格別のご理解とご協力、ご支援を賜り、ともに歩んでいただきますようお願い申し上げます。

※広報掲載にあたり、一部抜粋・編集してあります。全文はホームページでご覧になれます。

町ホームページ↓組織から探す↓町長↓  
施政方針